

武道の聖地で目指すは優勝！



7月7日(月)に志道館学園の加藤優志郎選手と竹林裕翔選手が、日本武道館(東京都千代田区)で開催される第59回全国道場少年剣道大会への出場を報告するために川地憲元町長を訪問しました。

川地町長が「日々の鍛錬で磨いてきた技や精神力を存分に発揮し、最後まで諦めなければ必ず結果はついてくと思います。悔いのない大会となるよう、心身ともに体調を整えて臨んでください」とエールを送ると、両選手は「去年の大会は悔いの残るものだったので、今年は練習の成果を発揮して悔いのない大会にしたいです」「全国大会への出場はとても緊張しますが、大会に向けて精一杯練習し、その成果を発揮したいです」と抱負を語りました。

犯罪や非行のない社会を目指して



犯罪や非行をした人たちの立ち直りに寄り添い、地域に根ざした支援を継続していくことで、犯罪や非行のない社会を目指して全国的に実施されている「社会を明るくする運動」を推進するため、7月6日(日)にザ・ビッグ養老店にて啓発活動を行いました。

啓発活動には、養老保護区保護司会と養老地区更生保護女性会、大垣養老高等学校MSリーダーズを代表してバスケットボール部の1年生が参加しました。参加者は「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」を推進し、安心で安全な地域社会を築いていくために、買い物客に対して呼びかけながら啓発グッズを手渡しました。

ご長寿おめでとうございます



大橋鉦藏さん(大野)が100歳を迎えられ、7月2日(水)に川地憲元町長から長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。

大橋さんは長年区長として大野区のために尽力され、よくご自身で書き物をしていたそうです。長寿の秘訣として「好き嫌いなくなんでも食べている」と話してくれました。

応援する力の起爆剤に



9月20日(土)に開催されるF C岐阜のホームゲームが養老町のホームタウンデーであることを記念し、7月9日(水)に株式会社大垣共立銀行より特別招待券100枚を寄附いただきました。

五藤義徳取締役常務執行役員が「現在、F C岐阜はJ 3リーグ内での順位も良いとは言えず、低迷している状況ではありますが、今回の寄附が起爆剤となって応援する声や力がどんどん大きく強いものとなっていくことを願っています」と話すと、川地憲元町長は「J 1リーグへの昇格を目指し、県内市町村を挙げて応援していきたいと思います」と応えました。

いただいたチケットは、町内のサッカー少年団をはじめ、町内中学校・高校などでサッカーをしている生徒に配布し、スポーツ振興に繋げていきます。